

エミーリ・ロチャヌー監督・脚本 / マクシム・ゴリキー原作

# 「ジプシーは空にきえる」

Табор уходит в небо

むせかえる民族と風土の香り、燃えたぎる野性のエロチシズム  
と情熱のしぶき、沸き立つ音楽のリズム

ロシア映画を  
研究する会  
キノエクリン  
5月例会



1976年サン・セバスチヤン国際映画祭"金の貝殻"賞 1977年パナマ国際映画祭最優秀女優賞

1976年/ノ連/撮影：セルゲイ・ウロンスキー、音楽：エウゲニー・ドガ、出演：スベトラナ・トマ、グレゴリー・グリゴリウ、セルゲイ・フィニチ、ボリス・ムラエフ

詩人でもあるエミーリ・ロチャヌー監督、音楽のエウゲニー・ドガらのモルダヴィヤ映画人とモスフィルムセルゲイ・ウロンスキーのカメラで完成した大作。南ロシアを放浪した際に見聞した、古くからこの地方をさすっていたジプシーたちの伝説「ロイコとラッタ」をモチーフに発表したゴリキーの処女作「マカール・チュドラ」が原作となっている。若きゴリキーの片鱗をうかがわせる自由を謳うロマンチシズムに貫かれた作品である。

作品上映後：日本ユーラシア協会 宮城県連合会事務局長 移川仁さんの解説あり

5/22(日) 14:00～ 仙台国際センター 1階研修室

参加費 500円 (資料代含)

仙台市青葉区青葉山 TEL022-265-2211



主催：日本ユーラシア協会宮城県連合会

共催・問合せ：右岸の羊座

070-5326-1974 大越